Q 保育事業費、補助金の予算額の根拠は。おむつ処分の備品についての説明を。また、処分費用はどうなるのか。

A 補助金の予算額148万3000円の根拠は、各園に必要となるごみ箱の購入及び設置にかかる費用を補助金額として、園からの要望全てを計上し、算出した。備品は、各園で園児数や建物等、保育環境や運営状況が異なるため、保育室に置くための小さなごみ箱、車のついた移動式のごみ箱、または屋外に設置する大きな収集庫等、様々である。その後の処分費用は、これまでどおり園の負担となる。

園ごとに算出したゴミ箱等の容器を買うという補助金なので、今後どうしても業者に出す処分費用の園負担は増えてしまうのではないか。

保護者への補助は出てきているが、保育士に対しての補助や援助、仕事の負担軽減も必要である。

Q 防犯対策推進費について、自治会管理防犯灯のLED化の進捗状況は。また、更新数200基の算定根拠は。

A 自治会ごとに防犯灯のLED化に差があり、既に全てLED化している自治会もあれば、修繕に併せて付け替えを行っている自治会もある。更新状況は、設置事業者への聞き取りから、蛍光灯防犯灯は現在も1000基程度使用されているのではないかと考えている。算定根拠について、要望の取りまとめから工事完了までの8か月を事業期間として計画し、200基とした。

1基当たり年3000円程度の経費が下がり、自治会の負担も減る。また、CO2削減の取り組みの面でも進めて欲しい。

Q 茶業振興費、地理的表示（GI）の周知、PRの方法とPR用品の発行部数と配布先は。また、見込まれる効果は。

A PRの方法は、パンフレット、ポスター、チラシについては店頭掲示や茶商が使用する。新しい取り組みとして、インスタグラムの広告やキャンペーンで、フォロワーの多い方、関心度が高い方等を把握し、そういった方々に広告やキャンペーンを実施する。PR用品の発行部数は、パンフレットが5万部、ポスターが200部、チラシは3万部を予定している。見込まれる効果は、既にGI導入された他の産地へのアンケートで、マスコミへの露出、認知度の向上、新たな顧客の獲得などの効果があったと回答があった。経済的な効果については、まだ統計の調査はできていないが、生産者にとって一番関心が高いところであるため、農林水産省の協力を得ながら、効果を測っていきたい。

インスタグラム広告という新しい広報手段を取るということで、個人的にわくわくしている。インスタグラムの広告を見る人の傾向を加味して広告内容を、吟味して頂きたい。

GI登録を受けたことは、名誉なことだと思う。これを活用して、それぞれの農家に還元されることが一番である。この登録をきっかけに安定経営に向けた取り組みを行っていくことが大切である。